

## 令和7年度 第4回瑞浪市男女共同参画社会推進会議要旨

日時:令和8年2月25日(水) 13時30分～15時00分

会場:瑞浪市西分庁舎 1階会議室

出席者(敬称略): 渋谷典子、深津隆、小木曾千恵子、浅沼克郎、野田順子、中山千鶴、  
後藤宮樹、山下千尋、大竹悦子、渡邊実千代、安藤瑞扇、山内賢人  
鈴木実千江、鈴木勝、宇井壮五

(欠席:渡邊喜美代、安藤友美)

〈事務局〉 市民協働課長 奥谷ひとみ

市民協働課人権啓発係 三浦和恵、河合清志

議事:(1)令和8年度 瑞浪市男女共同参画市民講演会(案)について

(2)令和7年度 瑞浪市男女共同参画社会推進会議活動報告(案)

(3)令和8年度 瑞浪市男女共同参画社会推進会議活動計画(案)

### 内容

(進行:事務局)

#### 1. 瑞浪市男女共同参画社会推進会議 座長あいさつ

(座長)雨の中、お集まりくださりありがとうございます。冬のオリンピックが開催され、選手のみなさんの悔しい思いをされながらも笑顔を見ると、私も勇気をいただきました。本日の議題に令和8年度男女共同参画市民講演会についてがあります。先程入口でチラシを発見しました。瑞浪市まちづくり基本条例が平成27年7月1日に施行されております。果たして市民は誰なのかが、第5条・第6条に書かれています。市民はまちづくりの主役です。まちづくりに参加することができる権利があります。お互いの活動を尊重し、協力してまちづくりを進めます。協力の協に働くと書く協働のまちづくりです。関心があれば入口にチラシがありますので、お帰りの際にお持ちください。

市民講演会ですので、チラシの裏面にありますように、まちづくりに参加するいろいろな機会があります。例えば、地域懇談会に参加し、市のことを知る、市民アンケートや市政直行便などで提案する、いろいろな委員会や審議会に参加する、今日まさしく皆さんは市民としてまちづくりに参加しています。講演会などに参加し学ぶことも瑞浪市まちづくり基本条例に書かれていることの一つです。イベントに参加する、イベントのスタッフとして手伝いをするというのもあり、皆さんも講演会に参加していただくので、まさしくこの活動をしていると思い紹介させていただきました。

今日は講演会の内容を詰めていくので、こちらに書かれているような市民の方が多く集まっていたらと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(進行:座長)

#### 2. 議事

##### (1)令和8年度 瑞浪市男女共同参画市民講演会(案)について

(座長)議事1について、事務局から説明願います。

(事務局) (資料に基づき説明)

〇〇さんより講師の方をご紹介します。

(参加者)皆さんにがんというものを知っていただきたく提案をさせていただきました。瑞浪市もコロナ前の平成30年頃がんを経験された方やそのご家族の方を対象に「ぬくたあカフェ」というものを瑞浪市総合文化センターで行っており、彦田さんはご自身も乳がんであるということで参加されておりました。そこで、皆さんにがん教育に関するお話などをしていただいております。彼女はがんであるが、ネガティブにならずポジティブに生活してみえます。がんだからといってネガティブになら

ず、がんであったとしてもポジティブに生活していただきたいと思い紹介させていただきました。

(事務局)ありがとうございました。座長からも補足説明をお願いいたします。

(座長)ぬくたあカフェのぬくたあとはどういう意味ですか。

(参加者)温かいという意味です。方言ですね。

(座長)瑞浪でも活動してみえますか。

(参加者)コロナの時に人数も減ってしまい、私は今、中津川市で行う時に参加しています。そこは、名古屋市や多治見市、下呂市など広域より参加しており、瑞浪市からも4名ほど参加しています。がん患者の方、家族の方、また家族がお亡くなりになられた方などが参加しています。カフェでは薬剤師さんもいらっしゃいますので、薬に関しての相談もできます。また、介護士や看護師の方もいらっしゃいます。今後皆さんもいつがんになるかもしれないので、がんの話も聞いてみてもいいのかなと思い提案しました。

(座長)ぬくたあカフェはがんの話だけではなく、いろいろな話が聞けるのですね。私も皆さんから頂いたテーマについて、来年度どのテーマがいいのかと考えています。10月の貴重な一日ですから、どういうテーマにしたら、市民の方が参加してくれるのか、市民の皆さんに関心を持っていただけるのか。この会議は男女共同参画を推し進めていくことを目的とした会議ですので、推進会議の役割を果たすためにも、今までお付き合いのなかった方たちに関心を持っていただけるような企画はないのかと考えていたところでした。安藤さんご紹介ありがとうございます。これまで、お付き合いのなかった方とお付き合いの道を広げていくことも大切かなと思い事務局と相談しこのテーマにしたかどうかということになりました。

全国規模でも、国も今、健康づくりに関することに注目しています。今は100歳まで長生きされる方も多く、私の友人にも85歳、90歳以上の大先輩が多く、心強いです。一方70代で亡くなる方、私と同年代で亡くなる方もいらっしゃいます。人間は死と向き合っているのだなと思っているところです。長い人生の中で何が起きるか分からないこと、国でも男女共同参画の視点から健康について考えましようということが進んでいますし、私の地元の男女共同参画の計画の中でも健康づくりに関することが取り上げられるようになりました。これまではメインで上がってこなかったのですが、健康というテーマが入ってきましたので、ぜひ瑞浪市でも健康について取り上げ、今までお付き合いのなかった方にもお声がけて来ていただき、健康であることプラス、男女共同参画の視点で考えていくこと、これはジェンダーの主流化といいますが、主流化は一番下の方を流れていて、みんなに知っていただく、小さいころから知っていただくことが大事かなと思います。

一つ提案としては、公民館の活動のように、こども席を用意し、小学校から聞いていただけるようにし、いろんな方が関わっていただき、男女共同参画の視点から物事をみてもいいかと思いましたが。これはあくまでも提案なので、他の案があれば出していただければと思います。

ここで検討していけばよろしいでしょうか。

(事務局)今日方向性だけは決めていただければと思っており、皆様からご意見をいただければと思います。

(座長)ここまでの、私と事務局で話し合った内容と〇〇さんからのご助言となります。それでは、皆さんよりご意見をお聞かせください。よろしくお祈りします。

(参加者)この会は男女共同参画ということですので、「がん教育」というがんを一つのテーマにあげるのではなく、病気になった後の生活、あるいは仕事をどのようにやっているのか等の内容が含まれるとよいのではと思います。仕事をがんばっているとか、地域でこんな風に活躍しているなど、男女共同参画を全面にだした講演会となるといいかなと思います。

(事務局)その他意見はありませんか。他の案でも何でもよろしいですが。

(参加者)私が最近よく観ている YouTube ですが、病気になるよりも、病気にならないためにはというものを観ています。東京の病院の先生がやっている YouTube で、病気にならないために、4つの

毒を抜くと良いという内容です。4つの毒は、小麦粉、植物油、乳製品、甘いものです。これには科学的根拠があり、体重が減る、肌がきれいになる等の効果があるというものです。先程の内容でもいいと思いますが、病気にならないためという内容も良いのではと思います。

(座長)健康であることは大切なことです。私も週1回太極拳をやっています。健康づくりもテーマにしていくということですね。

(参加者)第3次プランと今回予定している講演内容の関わりがもう少し分かると思いました。健康は食べること、食と結びついており、私も甘いもの大好きですが、キノコ、根菜類、DHA やチーズが良いと聞き食べており、食には気をつけています。

今回は角度の違うところからのお話が聞けるのかなと思います。チラシの一番下に一般社団法人がん哲学外来と記載がありますが、がんの方や周りの方はこういうものが大切なのかなと思いました。情報があればお聞きしたいと思いました。

(座長)一つずつ解決していきましょう。第3次プランとの関わりについては、後ほど事務局の方で対応します。哲学外来の話ですが、私の50歳前後の友人ですが、彼女も乳がんを患い、お父様も膵臓がんで3年程前にお亡くなりになられました。まさしくこういう活動をしていました。彼女と半年くらい前に話をしましたが、次の世代にがんをどう伝えていくか。学校で出前講座を行い子どもの頃からがんを知ることが必要ではないかと話しておりました。彼女はNPO出身の方で震災の時もボランティアの活動をしていました。自分の人生と向き合うことをがんを通して行っている方で、〇〇さんのお話をお聞きしてピンとききました。私も幅広いお話を聞いて参考になりました。ありがとうございました。

(参加者)食は健康に直結しており、小さいころから味覚を育てることは大切であると思っています。最近はおrganicが体にいいと聞きます。食べ物は直接体に入るものであるため、食を考えることは大切だと感じています。健康の話が聞けるといいと思います。

(参加者)題を見た時に老若男女、幅広い年代の方に来ていただけそうであると感じました。今まで、お年寄りには子育ての話は合わないなと思ったことがあり、この話であれば、どの年代の方にも聞いていただけたと思います。

(参加者)男女共同参画社会推進会議の目的の一つに、女性の積極的社会進出を妨げないというものがあるが、日本の人口もどんどん減少しており、瑞浪市の人口も3万5千人を切っており、ピーク時に比べると7千人以上減っております。女性は出産、子育てもありその間は、社会から遠ざかってしまう時期があり、女性の社会進出が妨げられ、出生率が下がってしまうのではないかと思います。なかなか関連付けることは難しいかもしれませんが、そういった話が聞けるといいかなと思います。

(参加者)座長、〇〇さんいろいろとご提案ありがとうございます。その上で自分の中ではしっかりとこないという感想です。男女共同参画における健康とは、女性の生理や出産など男性が理解できない女性特有の健康状況に対して、男性が無理解で同様な働き方を推し進めることがないよう、また、女性特有の乳がんや子宮頸がんなど、女性自身も理解が進んでいないということ、この2つを、理解をしていきましょう。その上で男女共同参画を進めましょうというものだと思っています。その理屈からすると、あまりあっていないと感じます。健康づくり課が行う事業ではないかなと思いました。もしやるなら、健康まつりと相乗りしてやるといいと思います。

この会議の年度初めに、みなさんでどのプランに関心があるのかという勉強会をしたが、雇用のことが多かったような気がします。健康のことや、今年度の講演会でやった自分の時間の使い方では、個人を変えるというものになるが、男女共同参画は個人の思考をかえるというよりは、仕組み、システムを変えてくださいということを出して行くものであると思っています。この会社の働き方が、男女で差があり、このままではいけないと追及していき、こうやって変えていきましょうとサポートしていくことが、男女共同参画を推進していくことだと思っています。個人が知識をつけて変わると

いうものではなく、例えば事業者を対象に、こんなふうにしたら男女ともに働きやすい環境になりますよと紹介し、会社にかわってもら、そういったことがプランに近づく気がします。

(座長)今の意見に付け加えさせていただきますが、昨年11月に日本労働法学会の大シンポジウムに参加しました。その時に女性の健康についてまさしく生理のことや更年期のことが取り上げられていました。労働法学会は男性が多いですが、このテーマははじめてで、嬉しく東京まで参加してきました。働く側のことも考えてみえ、その時もう一つのテーマとして、不妊治療のことが取り上げられていました。何か一緒に事業者ともできるといいですね。

(参加者)積極的に〇〇さんが提案してくださったことに感謝します。健康は大事です。今は健康ですが、40歳までは薬漬けでした。毎日、自分で作った野菜を350グラム食べています。今日も午前中、釜戸コミュニティーセンターで食生活改善推進委員会の活動があり、薄味の食事を食べてきました。食は本当に大事です。周りから40歳過ぎたら日に日に元気になっているねと言われます。健康で暮らせることに感謝し、人のためになることをしていきたいと思っています。健康は本当に大事ですので、今回の話はとても楽しみです。賛成です。

(参加者)この年齢では健康が第一ですので、とてもいいテーマだと思います。孫たちの食事をみていても、このまま食べ続けたら大変なことにならないかと思う時もあります。私もまだ、男女共同参画のことがしっかりわかっておらず、健康にしても、自分らしく生きるということも、どのように結びついていくかがまだ理解できていない部分もあります。ただ、健康というテーマは聞きやすくとても良いと思いました。〇〇さんに質問ですが、この方を知ったきっかけは何ですか。

(参加者)講師の方を知ったのは、平成30年に瑞浪市でぬくたあカフェを始め、そこに愛知県より参加してくださり、そこで、いろいろな話を聞かせていただき知り合いになりました。私は男女共同参画の意味は分からないが、みなさんにもっとがんのことを知ってもらえたらいいなと思い提案させてもらいました。がんでお亡くなりになられる方もみえますが、私はがんになり9年目を迎えますが、何とか今は健康で生活しています。この方もがんを経験されておりますので、がんになってからの生活について、話が聞けると思います。

(座長)今すごくすばらしい発言がありました。「私は男女共同参画のことは分からない」と。逆に私は男女共同参画のことは分かりますが、がんのことは分かりません。分からないことをお互い知合う。でもどこかで繋がりがあ。さぐり合う、そんな取り組みが新しいと思いました。新たな発見ができればいいですね。

(参加者)がん教育ということですが、食が中心になるのか、がんになってからの生活なのか、また、周りの家族のことなのか視点はどこなのかなどと思いました。こういう社会ですから、男性でも女性でもがんになりますが、その時の周りの方の接し方なのか。実は昨日がんを患っている義理の兄を連れてきましたが、どのように接すればいいのか分からず、インターネットで調べたりしたので、今回私はこのテーマに興味を持ちました。

(参加者)私の母が通っているデイサービスの先生は、死ぬならどの病気がいいのかという問いにがんだと答えられました。理由は脳卒中や心筋梗塞はいつ死ぬか分からないが、がんはいつ死ぬかが分かり、それまでの生き方を決められると答えられたことを思い出しました。生き方を考えられるというイメージがあります。先ほどから食という話も出ていますが、やはり食事を作るのは女性が多いと思いますので、女性が病気になると、困る家庭が多いと思います。これもまた変な話で男女共同参画ではないということになります。男性が作ればいい話ですね。家庭でどちらでもできるようにしておくことが大切だと思います。女性はホルモンバランスの関係で感情的になることがありますが、体の仕組みの話なので、ある程度理解することも必要かなと思います。ホルモンバランスを整えるような食生活に変えるなど改善していくことも必要かなと思います。それが子宮頸がんなどにも関係してくるのではないのかなと思いました。

(座長)ホルモンバランスは女性でも差があります。なんでもない人もいれば、なりたかった職業を諦

めなければならない状況の方もいます。労働法学会で健康を取り上げていただき、知らないことを知っていただき、そういった理解も深まればいいなと思います。

(参加者) 親族もがんで亡くなっています。この年になるとがんになる可能性も高くなるので、このテーマは良いと思います。

(参加者) 講師の方を探していただきありがとうございました。アンケートはお任せで提出していると思います。なぜかという、どうやって男女共同参画に結びつけるかを先に考えてしまうからです。そうすると誰を呼んだらいいのか思いつきません。今回この資料を見て、こういうところから広げていけばいいのかということが分かりましたが、がん教育というテーマとするなら、どのように男女共同参画に結びつけるのかを皆さんで考える必要があるのではと感じました。ただ、男女共同参画で講演会をやりますと言っても、参加者は毎回同じような方になっている気がします。違った視点から入って、まずは講演会に来ていただく、そこで男女共同参画に結び付けていくというのも一つの方法かなと感じました。座長の方から、講演会に小学生の子が参加したら新鮮、小学生の目線で考えるという意見がありましたが、そういう意見があったらおもしろいと感じます。ひとまちテラスで講演会を行った時に小学生の子が何人参加したのでしょうか。土曜日にがん教育の講演会があるから行くよと呼び掛けて何人の子が参加するのかなと思いました。私は児童館で働いていますが、子どもたちは小学校ではいすに座って話を聞くが、児童館ではすごくつまらなさそうにします。ですので、ひとまちテラスにどれだけ来て、どれだけ意見がでたのかが気になりました。小学生の頃からこういった話を聞いて学べる機会はとてもよいことだと思いますが、講演会に参加してくれるのかということころは疑問に思いました。

(座長) ひとりひとり率直なご意見を聞かせていただきありがとうございました。事務局で用意していただいた資料を説明していただき進めていきたいと思います。

(事務局) 追加でお配りさせていただいた資料をご覧ください。第3次みずなみ男女共同参画プランのコピーとなります。プランの基本目標Ⅱに健康で安全・安心な暮らしができるまちづくりというものが、課題として生涯を通じた健康づくりの支援というものが、その課題に対して、ライフステージに応じた健康づくりの支援、女性の健康づくりに関する支援の充実というものが、プランにも記載してありますが、男性と女性の双方が互いの身体的な違いを十分に理解し、尊重しあった上で、正確な知識や情報を入手し、主体的に健康管理に取り組むことが大切です。また、女性特有のがんである、乳がんや子宮頸がんの検診の受診率を上げていきたいということで、プランの中にも入れております。そういったことから、健康に関することも、男女共同参画を進めていく上で大切なことだと思っておりますが、皆様の意見にもあったように、どのように男女共同参画へつなげていくのか、見えにくい部分もありますので、どうつなげていくかということをお聞きしたいと思っております。本日皆さまと一緒に考えていきたいと思っております。

(座長) もう一つ付け加えますが、山下さんから事業者についてのご意見もありましたが、日本労働学会でも今、事業者も病気、がんになられた方への復帰を支援するような働き方を進める動きがあり、事業者側の働くという視点から、がんだけではなく病気全般ですが、事業者側でもどう復帰してもらおうかを考えています。瑞浪市で病気後の復帰について、何か取組みをしている事業者があれば、そういった方に登壇していただくと、仕事と結びつくのかなと皆様の意見をお聞きし思いました。その他ご意見はありますか。健康というテーマで進めるか、別のものにするか。

(参加者) 男女共同参画の定義はなんですか。

(座長) 私が考えるのは、一人ひとりの人生が、自分が主役で生きることができる人生にしたいと考えています。私自身は女性で、なぜこんなことをしているのかと言うと、女三代

記と学生には言っていますが、一つ目は、祖母は明治生まれ、母は昭和初期の生まれで、本家の家制度嫁の争いがあった。二つ目は、私は4年生大学に進んだが、就職差別にあった。三つ目は、専業主婦に憧れてなったが、自分の収入がなく不安定になったということがあった。このような状況から、今、ここにいることに繋がります。女性であることによって、生き方が制限されていたという状況を解決したいという思いがあった。自分の人生が生きられるようにしたいと思っています。男女共同参画の基本法では、一人ひとりが、責任はもたなければいけないが、自分らしく生きる社会を考えて作られています。瑞浪市もありますよね。

(事務局) 男性も女性もすべての個人が、喜びも責任も分かち合い、その能力・個性を十分に発揮することができる社会を実現するためにプランを策定しております。

(座長) そういう社会をつくるために阻んでいるものを取り除くことが必要。山下さんがおっしゃった仕組みをつくるということだと思います。何かご意見はありますか

(参加者) 皆さんからでた意見を踏まえ、このテーマでやったらどうかと思います。がんになった時、家のことは誰がやるのかというご意見がすごく気になりました。やっぱり家事は女性がやることが多いため、がんになった時、家庭のことを、夫、家族がどうやってフォローしていくかが大事ではないかと感じました。

(座長) ○○さん、どうですか。

(参加者) いいと思います。

(参加者) 家族のことを話してほしい、こういう内容を交えて講演してくださいということがあれば、講師の方へお伝えします。

(座長) リクエストできるということですか。

(参加者) できると思いますので何かありますか。

(座長) それではリクエストしましょう。講師の方も皆さんからリクエストしていただくと、こういう内容が男女共同参画につながるのかということもあり、話しやすくなると思います。キャッチコピーのところに「暮らしはどうする。仕事はどうする。人生はどうする」と入れたらどうかと思います。皆さんのお話しをお聞きし、「ごはんは誰がつくるのか。暮らしはどうするのか。」「お金が困るな。仕事はどうなるのか。」「あと数日しかないとなったら何をするのか。人生はどうするのか」と思い、「がんと健康について考える」というテーマに人生をどうするのかのキャッチコピーを3つ入れたらどうかなと思いました。人生そのものを考えていくことが、男女共同参画になります。また、山下さんがおっしゃった事業者にアプローチをかけてみるのもどうかなと思います。支援をしている業者を探し、仕事を続けられるようにするにはどうしたらよいか。個人的な案ですが、「暮らし、仕事、人生」としたらどうでしょうか。

(参加者) すばらしいと思います。

(座長) ○○さんは当事者ですよね。

(参加者) みずなみ男女共同参画プランに、基本理念がありますが、一人ひとりが性別に関わりなく、お互いにその人らしさを尊重し合い、個人の能力を発揮し、多様な生き方ができる社会をつくります。家庭や地域、職場において男女が常に助け合い、責任を分かち合いながら、対等な立場でともに活動し、平等に利益を分かち合える社会をつくります。とあります。家族の中に病気の人がいれば、普段は妻がやっていることを私がやるなど、役割を家庭や地域、職場において男女が常に助け合ってやっていくことが大事だと思いますので、内容は座長がおっしゃった内容でいいのではと思いました。

(座長) ○○さんどうですか。

(参加者) いいと思います。

(座長) 事業所を探しましょうね。こんな取り組みをしている、こんなシステムがあるよ。など事業者を知っている方はぜひご紹介ください。事業者にとっても、目標になり見習ってもらえるかもしれないのでいい機会になると思います。

今日の意見を、食は大切、小さいころから知っておくことが大切など、チラシの吹き出しに入れてもらうと分かりやすいかもしれませんね。もし録画が可能であれば、児童館で流すなどしてみてもいいかもしれませんね。意外と子どもはまっすぐより脇の方でやっていることの方が観ているかもしれませんね。

他に何かありませんか。〇〇さんこれからもご尽力お願いいたします。

それでは、議事1については承認されたということで、進めていきたいと思います、

## (2) 令和7年度 瑞浪市男女共同参画社会推進会議活動報告(案)について

(座長) 議事2について、事務局から説明願います。

(事務局) (資料に基づき説明)

(座長) この議案について何かご質問ありますか。

ご質問がないようですので、議事(2)は承認されました。次に移ります。

## (3) 令和8年度 瑞浪市男女共同参画社会推進会議活動計画(案)について

(座長) 議事3について、事務局から説明願います。

(事務局) (レジュメに沿って説明)

(座長) 何かご質問はありますか。

ご質問がないようですので、議事3は承認されました。

最後に意見交換ということで皆さんから感想や今後のご提案を伺いたしたいと思います。何かございますか。(意見なし)

一つ提案ですが、第1回の推進会議において、勉強会ができるということであれば、健康づくり課の方を招いて、市として健康についてどういう取り組みをしているのかをお話していただくことは可能ですか。インタビューしてもいいですよ。

(事務局) 健康づくり課と調整します。

(座長) 併せて講演会の時に、健康診断など、瑞浪市が取り組んでいる事業のパンフレットを配布してもらえると、参加された方もいろんな情報が入るのでいいかもしれませんね。

これで議事はすべて終了しましたので、事務局に進行をお返しします。

(事務局) スムーズな議事の進行をありがとうございました。

## 3. その他

(事務局)

・人権啓発冊子の紹介「ちょっといい話 15」の紹介

(事務局) 本日の会議全体を通してのご質問やご意見等はございませんか。皆様におかれましては、地域及び各団体からの代表として推進会議にご協力いただき、誠にありがとうございました。今後ともご協力の程よろしくお願いいたします。

それでは、これもちまして、令和7年度第4回瑞浪市男女共同参画社会推進会議を閉会します。長時間にわたり、お疲れ様でした。ありがとうございました。

《閉会》